

花個紋が入った「バースデーシップ」のプレゼントの例＝大津市内で



大津市粟津町のデザイン会社「でじまむワーカーズ」は、顧客企業の社員の誕生日を管理し、オリジナルのプレゼントを贈るサービス「366日の花個紋バースデーシップ」を二月から始めた。既に契約も決まり、村上伊津子社長は「社員のモチベーションアップに活用してもらえれば」と話す。(井本拓志)

社員に誕生祝いいかが？

366日花個紋添え贈り物発送



きめきを忘れない、ピュアな魅力を持った人。など、個紋ごとの言葉と解説入りのカードも付ける。

同社では社員七人の誕生日にプレゼントを贈るのが習慣。しか

サービスでは、顧客企業の社員の誕生日を一括管理し、誕生日の一月ほど前に同社から連絡。雇用状況に更などがなければ、事前に打ち合わせたプレゼントを発送する。

社が二〇〇八年に作った「366日の花個紋」を挿入する。花個紋は花をモチーフとした紋様。うるう年を含めた一年の一日ごと花をあてがった。例えは三月二十四日なら

プレセントに「いつまでも」と、知泉扶桑町の自動車部

大津のデザイン会社 でじまむワーカーズ

品製造「ダイワ化工」の大藪建治社長は「社員が楽しく仕事し、ここで働いて良かったと思えることが、ひいては会社の利益にもつながると思う。会話のきっかけになり、関係が深められれば」と導入理由を説明。「通り一辺倒の物でなく、一人一人に導く紋や言葉が入っているのが良かった」と話す。



しがのけいざい

バースデーシップをPRする村上社長（前列左）ら＝大津市粟津町のでじまむワーカーズで